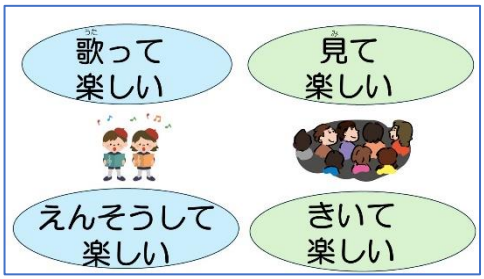
１１月２日　「音楽会がやってくる」











　１１月に入りました。４か月ある２学期も半分が過ぎました。１１月、１２月もがんばっていきましょう。

　２学期後半の大きな行事は、音楽会です。先週の金曜日から体育館での音楽の学習が始まりました。そのための大きな楽器が周りに見えますが、これは全部６年生が運んでくれたものです。ありがたいですね。

　さて、千束小学校の音楽会。私は、「楽しむ」ということを大切にしてほしいと思っています。私たち自身が「歌って楽しい」「演奏して楽しい」と思えるものにしてほしいと共に、聴きに来てくれる人が「見て楽しい」「聴いて楽しい」音楽会にしていきたいと思います。

　今日は、そんな楽しい音楽会にするための、歌い方のこつをお話します。

　まずは、「おなかをふくらませて、たくさん息を吸って、声を出そう」ということです。私たちが呼吸をするとき、２種類の方法があります。「腹式呼吸」「胸式呼吸」と言います。どちらも、肺に空気を入れるのは一緒なのですが、「腹式呼吸」というのは、肺の下にある横隔膜を動かして息を肺に入れます。この呼吸をするときには、おなかが膨らむ感じになります。たくさん息を吸って歌を歌うときには、この「腹式呼吸」にすると良いと言われています。もう一つの「胸式呼吸」は肺の周りにある肋骨を動かして呼吸をします。この呼吸法は素早く空気を肺に取り入れることができるので、運動しているとき、走るときに合っていると言われています。ですから、歌うときには、おなかをふくらませて、しっかりと息を吸って声をだすと、いい声で歌うことができます。

　もう一つは「声の出口である口を大きく開けて声を出そう」ということです。いくらたくさん息を吸っても、出口が小さいと大きな声は出ません。画面の「せんぞくん」みたいに、口を大きく開けて歌ってみてください。大きく口を開けていると、聴いている人、見ている人も、楽しくなります。

みんなが楽しくなる音楽会、とても楽しみにしています。

